

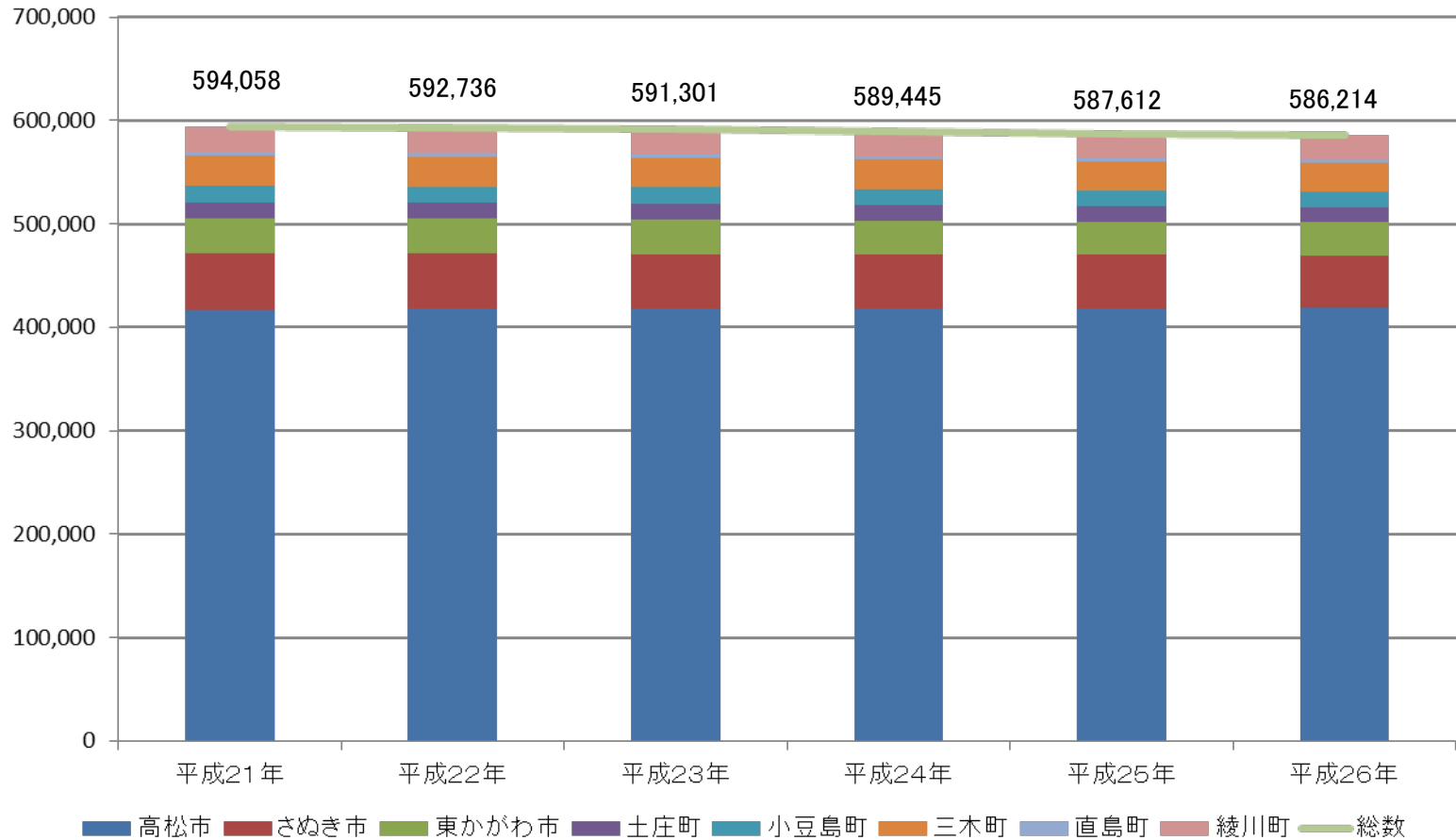
人口動態による圏域の人口推移分析



平成26年11月17日 市民政策局政策課

圏域人口の推移(グラフ)

各年4月1日現在人口

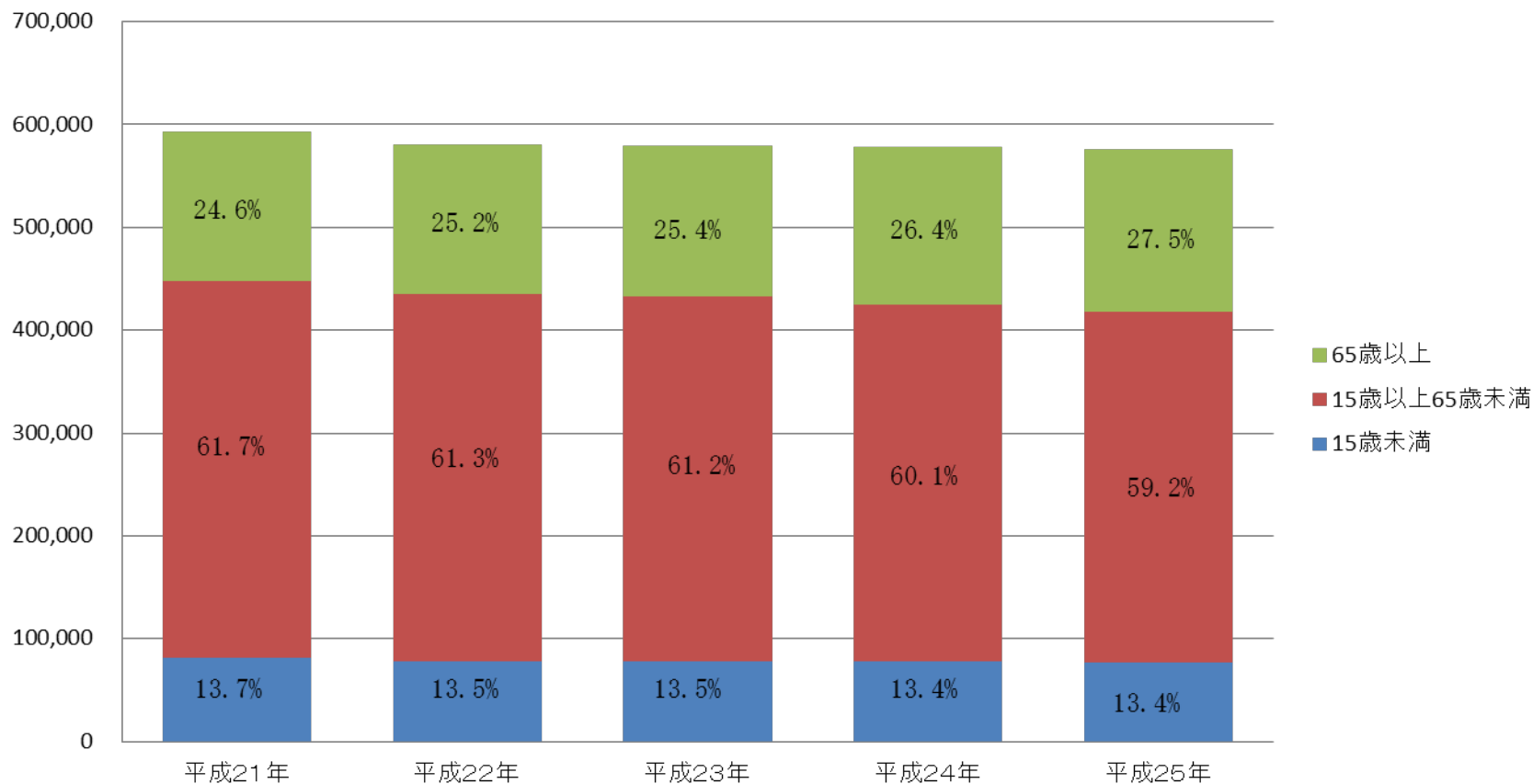


(資料) 香川県人口移動調査報告

(参考) 圏域の年齢別人口(平成21年～25年)

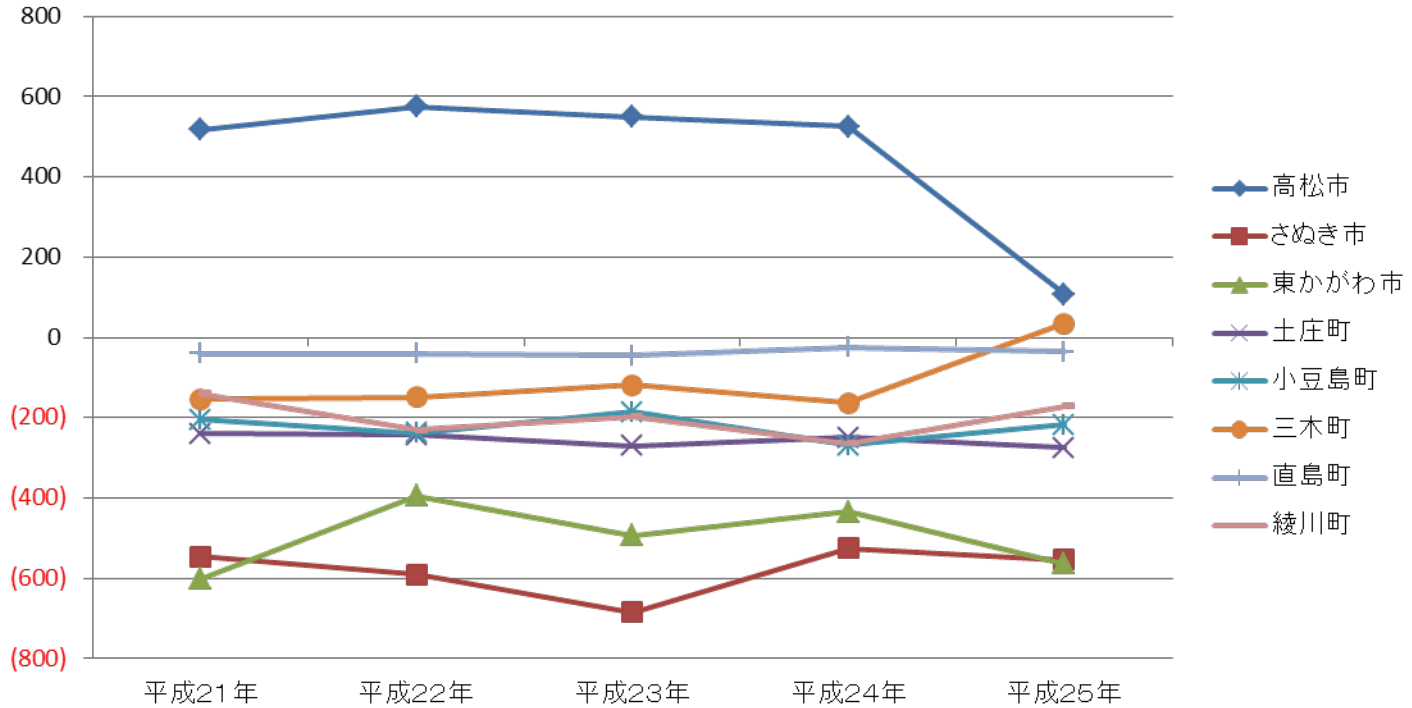
圏域の年齢別人口

(単位：人)



(資料) 香川県人口移動調査報告(年報)
※各年10月1日現在 年齢不詳を含まない

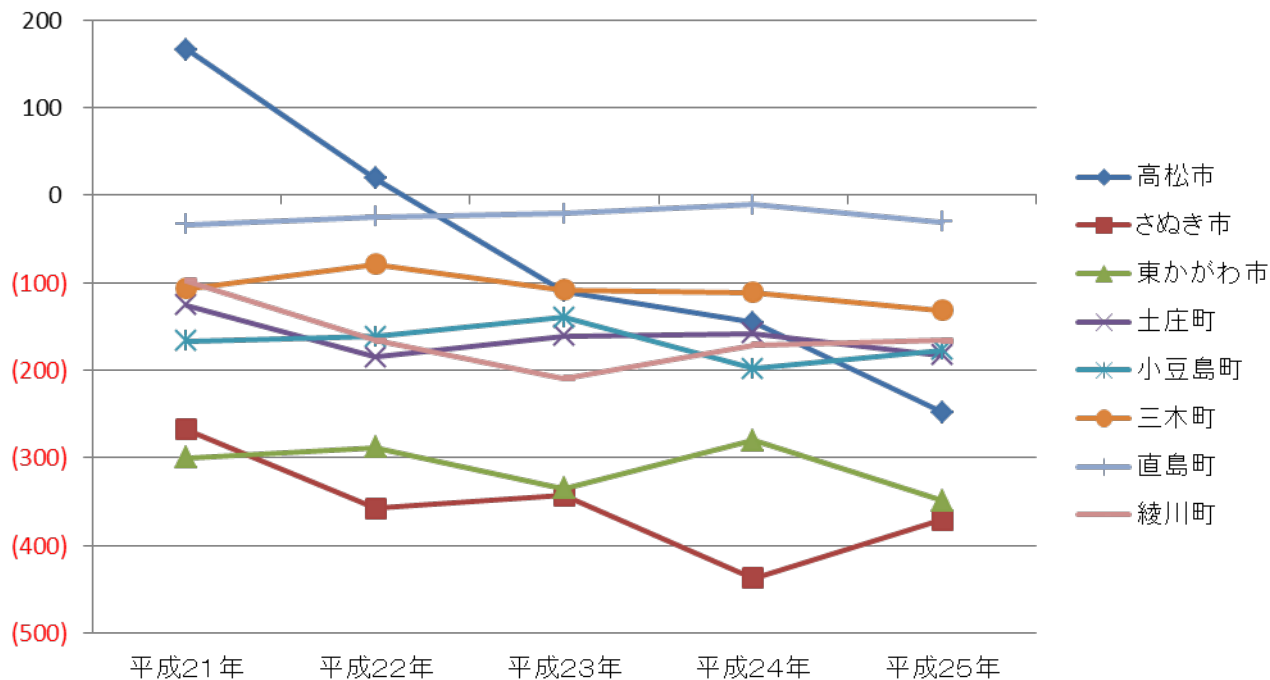
人口動態による圏域の人口推移(全体)



	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
平成21年	518	-546	-602	-239	-205	-153	-40	-140
平成22年	575	-591	-395	-243	-238	-149	-41	-231
平成23年	550	-685	-494	-270	-185	-119	-46	-197
平成24年	526	-525	-434	-250	-269	-163	-25	-264
平成25年	増 107	-554	-563	-275	-218	増 34	-36	-172

(資料) 香川県人口移動調査報告

人口動態による圏域の人口推移(自然動態)

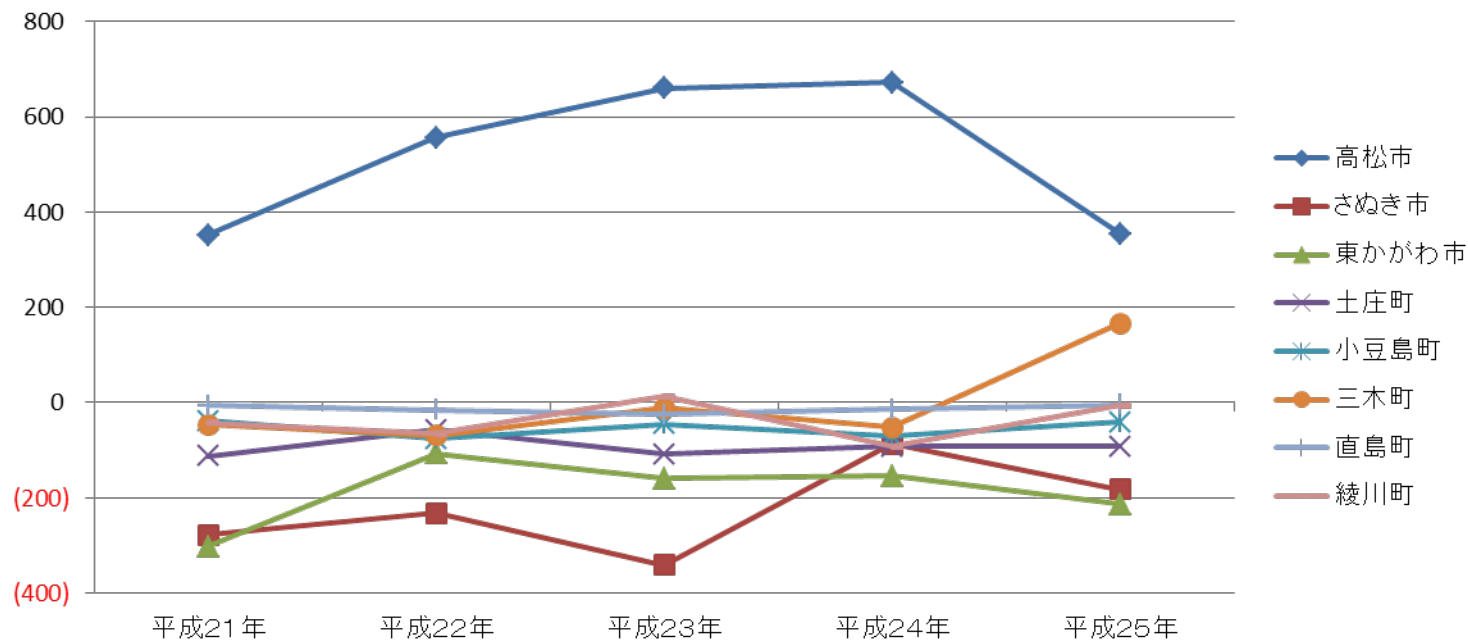


	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
平成21年	166	-268	-300	-126	-167	-107	-34	-98
平成22年	19	-358	-288	-185	-162	-79	-25	-166
平成23年	-110	-343	-335	-161	-140	-108	-21	-209
平成24年	-146	-438	-280	-158	-198	-111	-11	-171
平成25年	-248	-371	-349	-183	-177	-132	-31	-166

(資料) 香川県人口移動調査報告

人口動態による圏域の人口推移(社会動態)

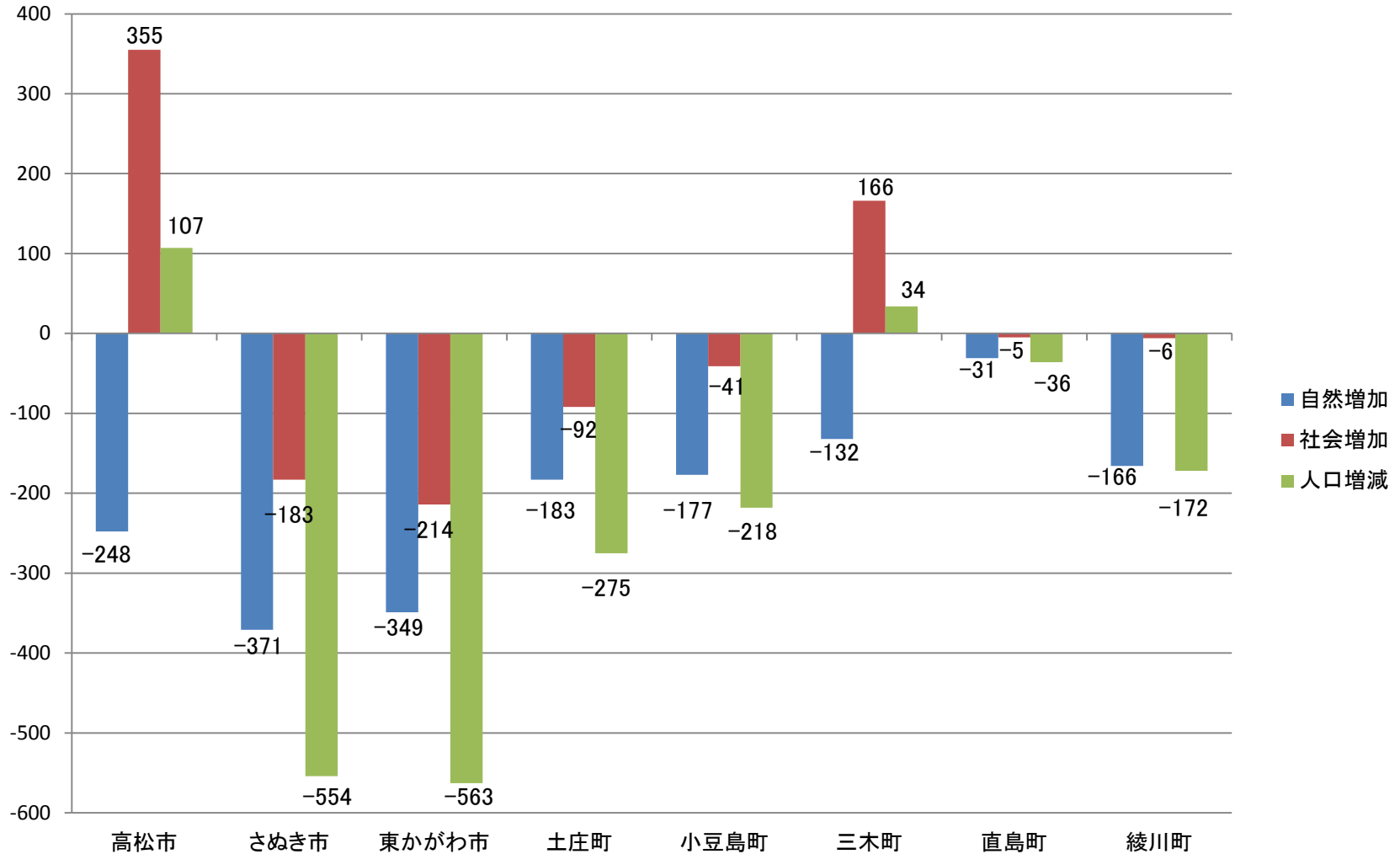
社会動態



年	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
平成21年	352	-278	-302	-113	-38	-46	-6	-42
平成22年	556	-233	-107	-58	-76	-70	-16	-65
平成23年	660	-342	-159	-109	-45	-11	-25	12
平成24年	672	-87	-154	-92	-71	-52	-14	-93
平成25年	355	-183	-214	-92	-41	166	-5	-6

(資料) 香川県人口移動調査報告

圏域市町別人口動態(平成25年1月～12月)

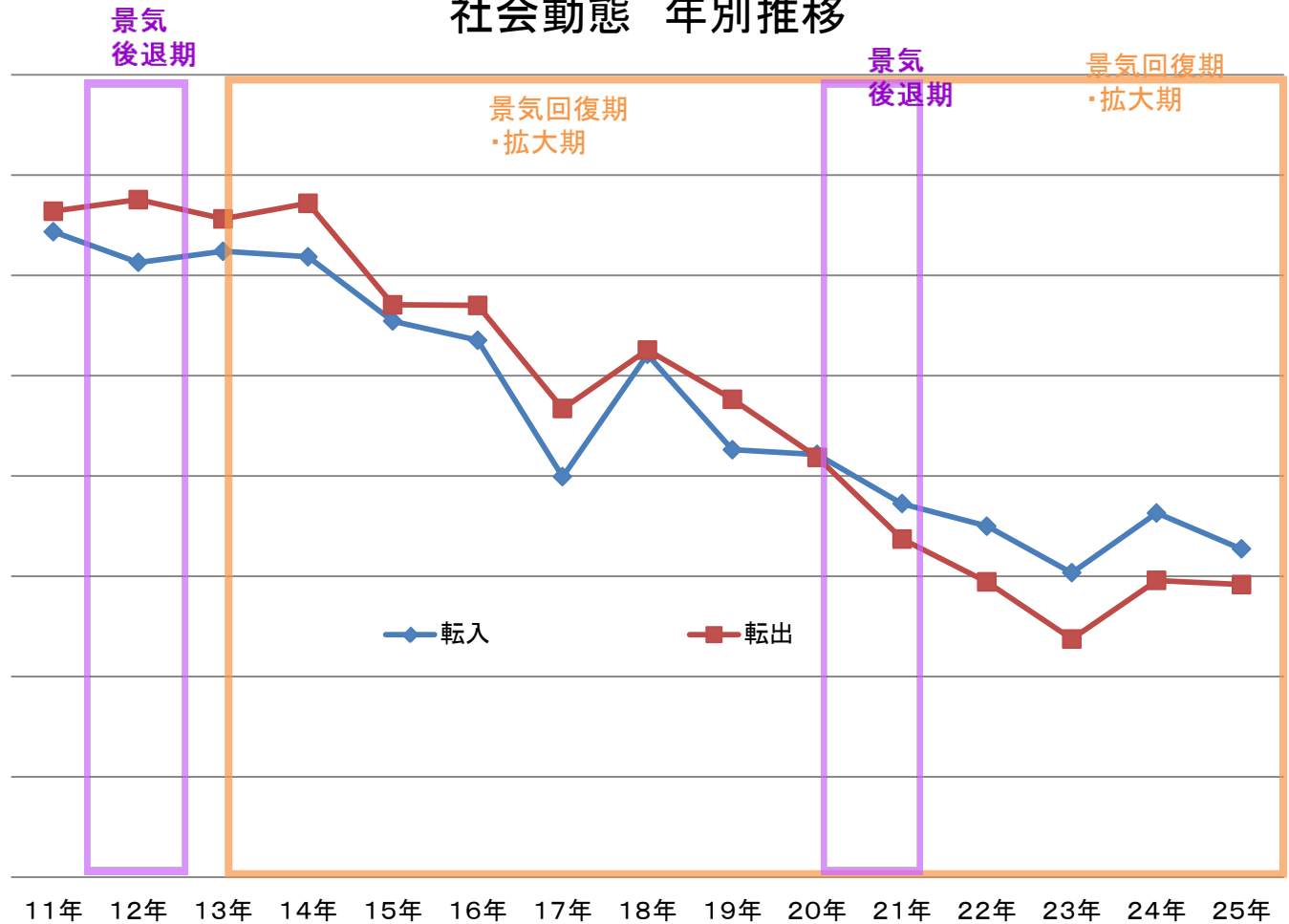


(資料) 香川県人口移動調査報告

社会動態による高松市の人口推移(グラフ)

年	転入	転出
11年	18,434	18,639
12年	18,128	18,755
13年	18,239	18,563
14年	18,185	18,718
15年	17,543	17,705
16年	17,352	17,700
17年	15,991	16,670
18年	17,210	17,254
19年	16,261	16,763
20年	16,214	16,184
21年	15,723	15,371
22年	15,498	14,942
23年	15,033	14,373
24年	15,629	14,957
25年	15,272	14,917

社会動態 年別推移



香川県統計調査課の資料によると・・・

●平成24年7月の県勢動態指標

「本県人口の県外社会動態(転入・転出)を見る」では・・・

①昭和56年から平成3年までの11年間 → 転出超過(年平均1,000人程度)

※この間の景気動向は、昭和58年～60年頃、景気回復と、バブルの発生に伴い、昭和62年～平成2年頃にかけて景気が拡大。

②平成4年から11年までの8年間 → 転入超過(年平均490人程度)

※この間の景気動向は、バブル崩壊の影響などにより、平成3年～5年頃と平成9～10年頃に景気が後退。

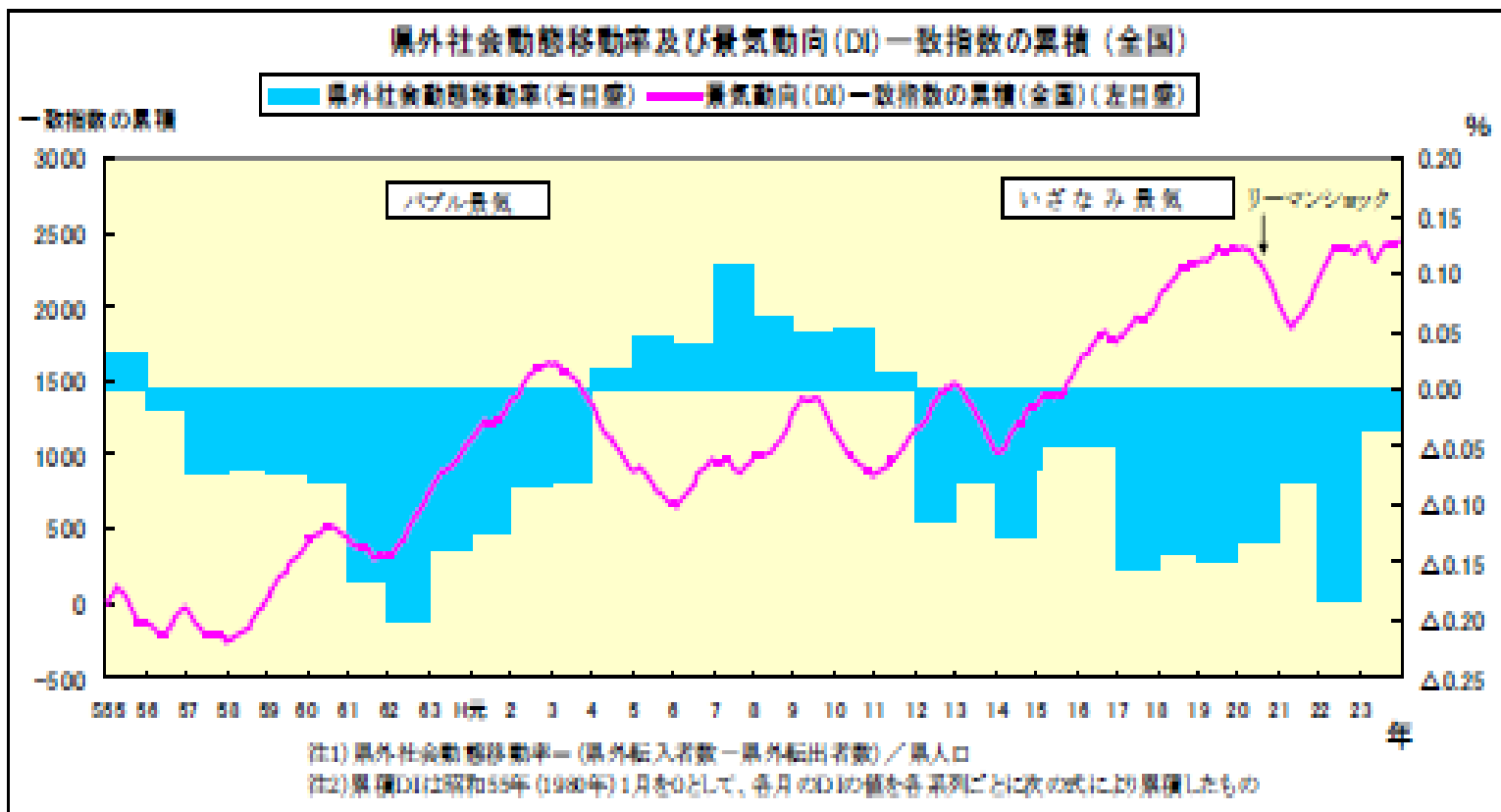
③平成12年から23年(現在)にかけて → 転出超過(年平均1,100人程度)

※平成13年頃と、リーマンショックの影響があった平成20～21年頃、景気後退したが、それ以外の期間では景気が回復。

●香川県の特徴

景気回復・拡大時には転出超過、景気後退時には転入超過となる傾向。
景気が県外社会動態に影響を及ぼしていると考えられる。

本県における県外社会動態の推移

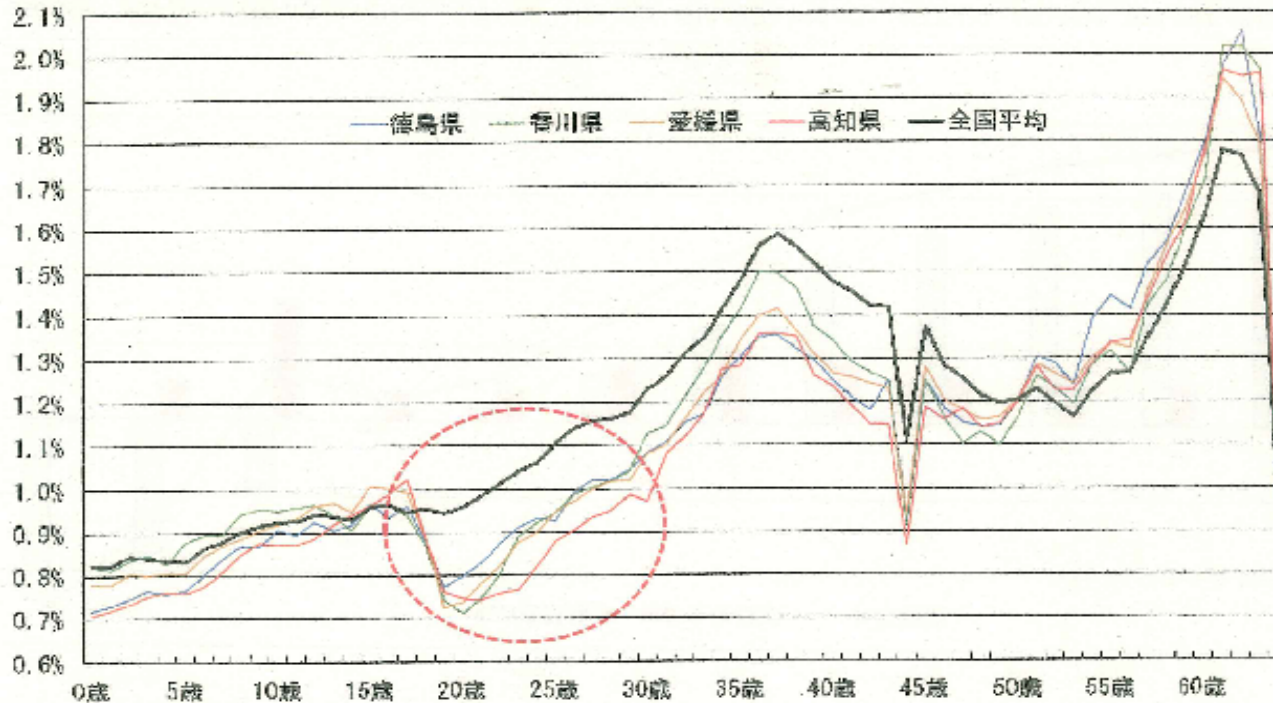


県勢動態資料(平成24年7月香川県統計調査課)より

四国4県の年齢別人口割合(平成22年国勢調査)

3. 四国4県の年齢別人口割合(平成22年国勢調査)

四国の状況



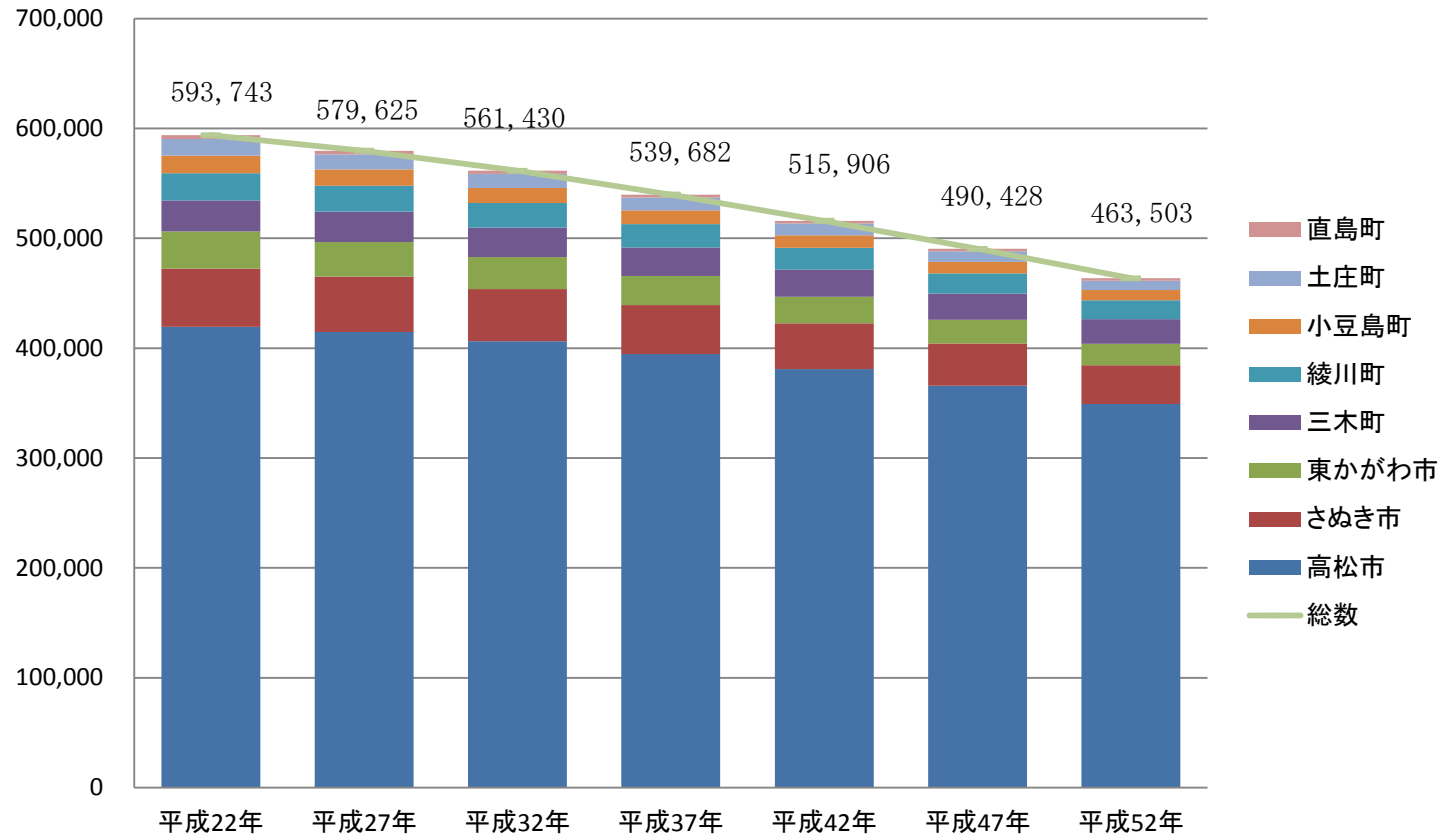
○四国4県とも、20～40歳代の人口割合が全国平均を下回り、特に20歳代の人口割合は全国平均を大きく下回る。

香川県「まち・ひと・しごと創生本部」基本政策検討チームヒアリング資料(H26.10.3)より

圏域の将来推計人口と定住自立圏の必要性①

圏域の将来推計人口

(単位：人)

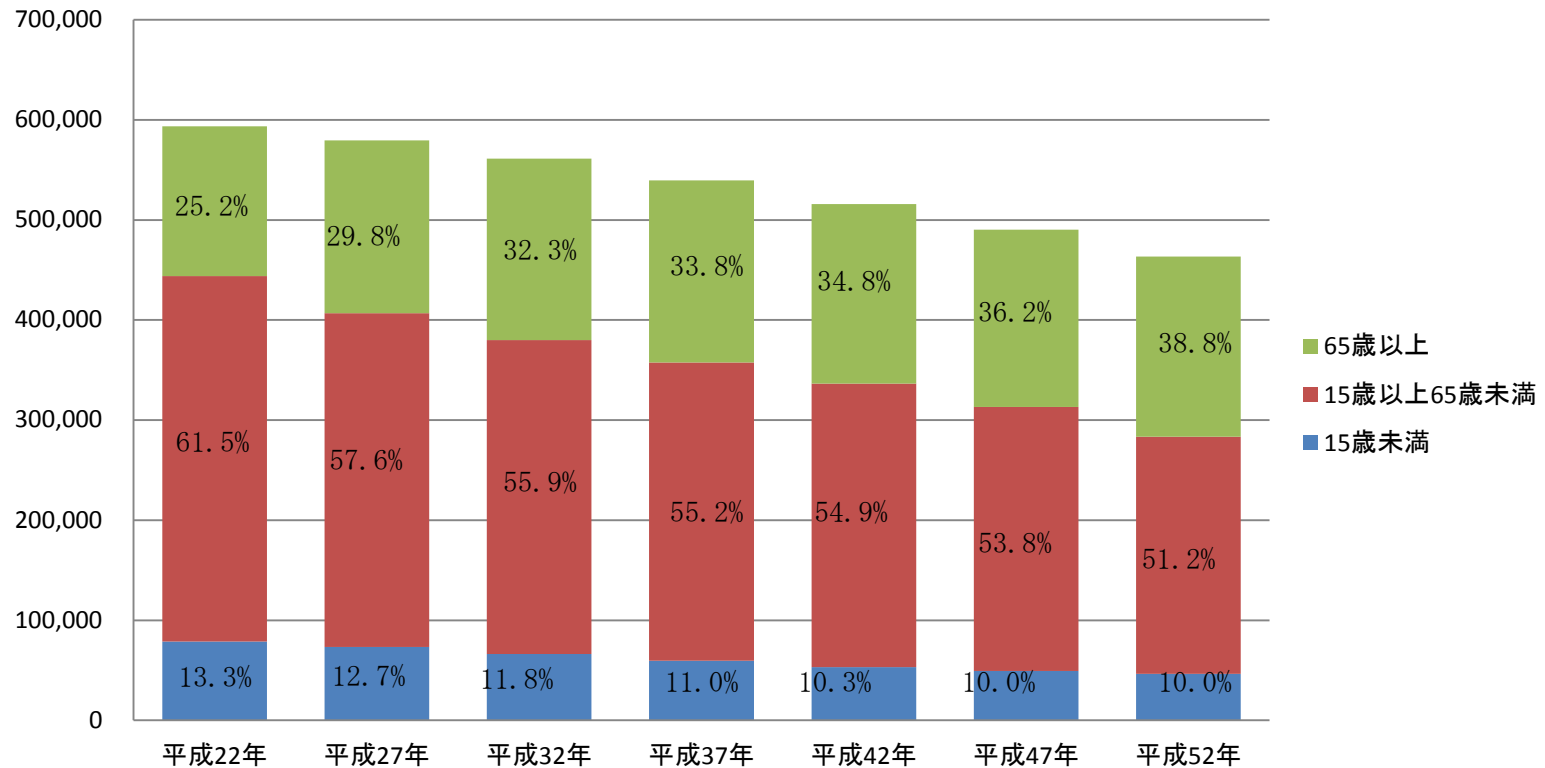


平成25年12月、国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」による。

圏域の将来推計人口と定住自立圏の必要性②

圏域の年齢別推計人口

(単位：人)



(資料)平成22(2010)年国勢調査報告(総務省)

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」

